

日本クリスチャン・アシュラム連盟



日本アシュラム

アシュラムとはスタンレー・ジョーンズ師がインドの退修方式を取り入れて創始されたキリスト教の新しい祈禱運動である。

開心・静聴・充滿・献身・奉仕 '94 11.1 94



祈るしかない祈り

(ルカ18:9~14)

金 元 治

物事に行き詰まるとよく、祈るしかないという。イエスは、信じて祈れば必ず成就すると言われ、悪霊を追い出された時は、「この類は、祈りによらなければどうしても追い出すことは出来ない」とも言われ、また失望せずに常に祈ることをイエスは教えられた。「父よ、御心ならば、どうぞこの杯をわたしから取りのけて下さい。しかし、私の思いではなく御心のなるようにして下さい」とイエスは、血のじむような祈りをささげられたが、十字架の杯は取り除かれることなく、イエスが負わなければならなかった。祈りとは我欲に走って祈ってもきかれないと言ったものでなく、神の御心が成ることである。切羽詰まって祈ることが、私達の人生や信仰生活にはしばしばある。そのような時の祈りを『祈るしかない祈り』と名づけよう。

祈りの人であるパウロでさえ「私たちはどう祈ったらよいか分からないが、御霊自ら、言葉に表せない切なるうめきをもって、私たちのために取り成して下さるからである」とうめきの祈りを経験している。また、異邦人が救われるとは夢にも思わなかったペテロに対して、主は幻で、地上の動物や空の鳥などの生きものを食べるように促して、「神が清めたものを清くないと言ってはならない」と言った。そのことは、汚れた者と思っていた異邦人も、神が清くして下さったので救いに入れるとの黙示であった。神が天使を通して「あなたの祈りや施しは神の前に届いて、覚えられている」と言われた異邦人であるコルネリオの祈りは、ペテロを動かして主イエスの名によるバプテスマを異邦人に

も授けさせたのである。

イエスが取税人や罪人たちと食事を共にしていると、パリサイ人たちがイエスの弟子に向かって「なぜ、彼は取税人や罪人などと食事を共にするのか」とイエスを非難した。また、町で評判の罪の女が、涙でイエスの足をぬらし、自分の髪の毛でぬぐい、足に接吻して香油を塗ったのを見て、パリサイ人は心で「もしこの人が預言者であるなら、自分にさわっているのがどんな女かわかるはずだ。それは罪の女なのだから」と言ってイエスを見下げた。しかし、イエスは「私が来たのは義人を招くためではなく、罪人を招くためである」と言われた。

今回の聖句は、パリサイ人と、自他共に罪人と認めていた取税人の祈りがテーマである。パリサイ人は、義人ぶりを誇って「この取税人のような貪欲、不正な者、姦淫する者でないことを感謝している」と祈りを結んだ。しかし、取税人は目を天に向けようとしないうで、胸を打ちながら「神様、罪人の私をおゆるし下さい」と祈った。イエスは、神に義とされたのはこの取税人であって、あのパリサイ人ではなかったと言われた。人生の絶望の時には祈るしかない祈りがある。コルネリオも異邦人が救われバプテスマを受けるとは思わなかった。取税人はパリサイ人は救われても自分は救われたいと思いつつ祈り、いずれもこの祈るしかない祈りで救われたのである。

(在日大韓基督教大阪西成教会 元老牧師
在日本韓国YMCA 顧問)



スタンレー
ジョーンズ
コーナー

どのように祈るか(5)

〔九の続き〕祈りの予定には例外を許してはなりません。というのには例外は習慣をこわすからです。習慣はとても大切です。

* 祈りの階段

我々は今や実際に祈りの階段にさしかかっています。それにはおよそ九つの踏み段があります。

第一段、あなたが真に欲していることが何かを決めなさい。あなたの意志が重要なのです。本気で自分の願いに身を委ねるつもりではなくて、気まぐれな思いで祈りの時に入りこんでなりません。あなたは全き心をもって祈らないで、神の答えを期待できません。なぜなら神はあなたが全き心で言っていることを聞かれるからです。「その日に汝全き心をもって我を求め、汝我に会うべし」とあります。神は全き人の全き願いにだけ、全き心答をなさることがおできになります。
イエスが度々嘆願する者に「私に何をしてほしいか」とお尋ねになった

とに注目して下さい。これはまさに必要なことです。なぜなら、病人は心の奥底ではそう望んでいないのに良くなりたいと願うことがよくあるからです。彼は病氣や泣きごとを、人の注意や世話を自分に引きつける手段として用いているのです。

ある定期的にもたれる家族の集まりに一人の伯母がいつも来ていましたが、彼女はきまって具合が悪くなりました。家族の残りの者は同情し、世話をしようとして彼女の周りでざわめきました。病気が彼女を苦しめていた。彼女が病気を自分から取り除く方法を食べ終えていました。彼女は病気を自分から取り除く方法を食べ終えていました。彼女は病気を自分から取り除く方法を食べ終えていました。

同じことが我々の道徳的、精神的生活の領域でも起こり得ます。我々は自分の存在の一部分でもって、道徳的、精神的勝利のために祈ります。聖徒となる前、聖アウガスチンは「神よ、私を潔くして下さい。ただ、今ではなく、と祈っていました。私は回心する前は、神が私を汚れない者にして下さい」としばしば祈りながら、私の言葉通りに受け取られるのを実際に恐れていました。事実、私はよい行いの人になることを望んでいませんでした。それで私の祈りは決して答えられませんでした。それが、遂に危機に至って、私は変えられたことを真に願いました。その時、神

は聞いて、私を解放して下さいました。全くその時でした。

多分あなたは全き自分として、祈りたいと思っているが、もう一つの自分がそれに協力しない。それなら、心から喜んでするようにされたいと、望んでいますと神に告げなさい。あなたの嫌いやの思いを神に差し出しなさい。そうすれば、あなたの同意の下に神はそれを進んでする気持ちに変えて下さいます。

主よ、あなたのご臨在を執望しました。私は全き心をもって呼び、祈り、あなたに近づいて行き、あなたを見出しました。

あなたはわが行く道に来ておられました。あなたが近づいて来られる神におめにかかるとき、神は道の半ばよりもあなたに近づいておられることに気づくでしょう。

このお話の始めに言ったある婦人の経験です。我々は我が家に何でもありません——何でもありますが、何もありません。今、彼女は何かをもっています。私の日々は静思の時を中心に回り、そこから光が射しています。そのなるまでの間、私は惨めでした。私は自分の思いを抑制して、祈ることができませんでした。まあ、分別のある祈りはささげられませんでした。一時私は祈りにつとめようとして自分を不

当に扱っているのではないかとさえ感じていました。それから、その時間を専ら聖書を読むことに神に手紙を書くことに当てました。これらの手紙の中で、私のわがままがとり除かれ、み心が優勢になります。

それはとても満足なので、私は返信に追い付こうと努めています。あなたには話しましたが、このことを私の仲間には知らせると恐らく、頭がおかしいと判断されるでしょう。けれども、もしこれが間違いなら、私は潔く、それが好きなんですと告白します」と彼女は言っています。だが、その行為にはりっぱな健全さがあります。と、言うのはその婦人は自分を明確に手紙の中で表現することに慣れていくからです。彼女は自分のその習慣を神との交際に乗り換えたのです。

アシュラム生活の最良の友
アパ・ルーム
 海老沢 宣道 編集
 (年6回刊行の日々の糧)
 国際的、超教派的、霊的な読物
 価250円、〒90円、年2,040円(〒共)

申込先 ☎256 小田原市国府津3-11
 振替口座 00110-7-193834 アパ・ルーム
 電話番号 0465-48-2010

日本語版は創刊以来43年続行中

東京都目黒区中央町1-21-10
 日本クリスチャン・アシュラム 東京本部

満丸 茂先生に感謝

淵江 淳一



先生に感謝の言葉を述べさせていただきます。

満丸先生は靈南坂教会の出張伝道地ともいべき大宮前教会に赴任され、一所懸命に伝道されました。それは丁度終戦後であり、沢山の信者を得て非常に忙しく働かれました。一方食糧事情が最悪の時期であったので、健康を害され、結核と診断されました。その頃は良い薬はなく結核は不治の病と言われ、先生は疲労困憊の極におられました。まさにその頃アシラムと言う聖修会が日本にもたらされました。スタンレー・ジョーンズ博士は印度教の靈修方法を取り入れ、全くキリスト中心にクリスチャン・アシラムを始められ、日本にもそれを定着させようとして全国を巡回されました。

やがて日本キリスト教団東京教区でも金井為一郎師を委員長として、小金井の浴温館でアシラムが催されました。今から考えると、それは非常に注目すべき事実であって、教団がその時

点に帰るなら、日本伝道の希望は甦えるでしょう。

満丸先生はその東京教区のアシラムに出席され、全く新しくされ、自分を主に明け渡し、先生がよく言われたように、聖霊のバプテスマ、内住のキリストを一度に受け、弱り果てていた健康を速かに回復されたばかりか、九十才を越えても、その頃の気力を生き生きともち続けられたのです。それは驚くべき事実です。この証しによって先生はアシラムを通じて、天上の喜びをもち続けるようにと語っておられます。

ピリピ人四章四、七節に、「あなた方は主にあつていつも喜びなさい。繰り返して言うが、喜びなさい。あなたの寛容を、みんなの人に示しなさい。主は近い。何事も思い煩ってはならない。ただ事毎に感謝をもって祈りと願いとを献げ、あなた方の求めるところを神に申し上げるがよい。そうすれば、人知では到底測り知ることのできない神の平安が、あなた方の心と思いをキリスト・イエスにあつて守るのである」とあります。使徒パウロと共に満丸先生が身をもって示された遺訓を感謝し、主にあつて一つになって進みたいと思います。

一九九四・八・二十一 大宮前教会 (アシラム連盟副理事長)

世界アシラムの印象記

土山 牧羔

第9回世界アシラムは、'94年7月6、10日の5日間、スウェーデンのヨンチョピング市で開催された。開会の前夜、奏楽の代わりに、一同は「ハレルヤ、ハレルヤ」の讃美歌を何度も繰り返して歌った。神の御前に大勢の天使たちが讃美するかのように、聖く、美しく、楽しく、和やかに一同が歌った。参加者の息と気持ちの整合が出来たときに開会が宣せられ、ジム・マシウス兄により、主題「世界の救主イエス・キリスト」について語られ、「開心の交わり」の時が始まった。

初めて国際アシラムに参加した諸国から来た同信の友と、互いの相違を超えて、論議論争を全く忘れ、一人の主によって一体とされた兄弟姉妹と打ちとけた愛の交わりを持ち、神の国の現実を経験できて幸せであった。

5日間を通し、自分の仕事の責任と煩わしさをすべて離れ、日常生活の一切を忘れ、祈りと、み言葉への静聴と、黙想に集中する恵みの時を持ちえた。

日本のアシラムとは、やや異なつたムードがあり、そこには恵みに満たされた温かさ、深い臨在感の靈的雰囲気のみなぎっていた。固くならないでリラックスし、信仰的な安定感があり、内向性から解放された自由な情緒が溢

れ、楽しい心地良さを感じた。

参加者一同の口から出る言葉は、一貫して「神の然り」への信仰に基づく積極的で建設的な話題に終始した。常に明るく喜びと希望と友情に満ちており、一同の顔には栄光に輝く喜びが溢れていた。それで、不信仰から出る懷疑や失望や悲観や後退論などの消極的思考、また攻撃や批判などの破壊的言辞は一切語られなかった。

キリストとの愛と信仰の関係が深められ、キリストへの自己の全的な明け渡し、二心の無い献身を誓った忠誠心がみなぎっていた。一同は、この場所から、キリストの愛によって駆り立てられて、私たち皆のために死して復活された主に奉仕すべく、聖霊に満ちて各国へ遣わされて行くのであった。



▲'94.7.9 国際アシラム委員会で世界アシラム各国委員

【代表】アメリカ、カナダ、ドイツ、フィンランド、スウェーデン、印度、日本の7ヶ国

編集人 白川 千太郎
発行人 大石 千太郎
定価 一部60円 千80円

※第29回 九州アシュラムの報告

今年に従来の型を破り、部外から講師として和歌山市の山本杉広先生を迎えました。お話しは淡々として、気張らず、ご自分の入信以来の体験談でした。しかし確信と力に満ちていて、私は聞きながら自らを大いに反省させられました。

祈っていても、これ程の確信と喜びに満ちあふれるに至らない、それはどうしたことか。同じ主を信じながら、そして聖霊により力を与えられる信仰をひたすら求めました。一同み恵みによる喜びに満たされて散会しました。

(山本繁大)



▲第29回 九州アシュラムの出席者(1994.9.19~20)

★第32回 関東アシュラムの報告

去る九月十三日~十五日、奥多摩の福音の家で、助言者として大韓大阪教会名誉牧師金徳成師を迎えて開催され、篠つく秋雨の中を五十五名が参加した。福音の時、金師は「あなたは本当に新しく生まれたか?、聖霊の導きを受け、

続けているか?、イエスを心の中に主として受けているか?という三つの問いによって真の救いは主イエスへの完全な明け渡しに基づくことを懇切に教えられ、多くの例話を挟んだ平明な説き明かしは会衆を魅了し、集まりの深い霊的雰囲気をもし出した。参加者からは心をつづ質の高い証しが語られ



▲第32回 関東アシュラムの出席者(1994.9.13~15 於奥多摩福音の家)

霊に満たされて、讚美の聲が高らかに響いた。祝福された聖会であった。出席者の内訳は男31、女24、内初参加11。

(白川鄭二)

|| アシュラムに参加して ||

在日大韓大阪教会・金 徳成

関東アシュラムに参加できて感謝でした。本当に恵まれ、アシュラムがどんなに素晴らしいかを一層強く感じるようになりました。(会場にて)

東京都三鷹市・飯島庸江

九年前まだ受洗前に初めて関東アシュラムに参加して以来、主なるイエス様の御恵みがどんなに大きかったことでしょうか。身体と魂の愛のいやし、
「神さまとの休暇」と呼ばれるアシュラムが私を主の方へ向けて引つ張ってくれる力、主イエスを仰いで歩む道となってくれています。すべてを明け渡して、アシュラムのお仲間と共に進んで行きたいと思えます。

杉並区高円寺・堀内 清

切なる願いをもって参加しました。

猛暑の中休みの恵みの雨に、奥多摩の山々はしっとりとした黒絵のように横たわり、み霊は生きて働き、乾いた魂を生かかせました。満ちあふれるみ恵みを頂き、感謝。主の前に心を開き、明け渡し、み言葉に静聴。ペテロ書より与えられた聖句が私の内に受肉しますように。祈りはすでにかなえられた

と信じて「げにイエスは主なり」とみ名を崇めます。

北九州市小倉北区・井上 治

伝道する時には、病人をいやし、悪魔と悪霊を追い出せとのみ言葉に、福音宣教の力を感じさせられました。

|| 個人消息 ||

満丸 茂師、八月十六日未明逝去、二十二日大宮前教会で告別式が行われ、湘江淳一連盟副理事長が弔詞を述べた。満丸師は永年に亘り関東アシュラム委員として多大の貢献をされた。

◎アシュラム連盟通常会計報告

賛助金 石神 勇 10,000円
特別献金 満丸信生 10,000円

●クリスマスの贈物に最適●

新しい歌をもって
主を讚美しよう

(在米)吳速臨訳編
海老沢宣道校閲

最新アメリカ讚美歌曲集

「イエスは主です」

全六十六曲は一人でも、家庭でも、アシュラムの集会でも活用してほしい霊的喜びの歌ばかり。

A5判一〇二頁 価一五〇〇円 丁二四〇円・発売元・キリスト新聞社
取次・日本クリスチャン・アシュラム連盟事務所・振替口座〇〇一〇〇一―四五五八